

心豊かに  
生涯学習



# 中之町コミセンだより

第264号

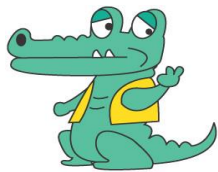
## 主催講座 「クラフトテープ」&「ハワイアンキルト」 学習課題の制作は順調に進んでいます♪



2作目では素敵な籠が出来ました。  
早速買い物に使っているとのことですよ  
（「クラフトテープで小物作り」講座）

最初はシワが困ったり、カーブする場所が角ばってしまったりしましたが  
何とか形になってきました。1作目のタペストリーと2作目のボトル入れです。  
（「ハワイアンキルト」講座）

1ヵ月遅れで始まった市主催講座の「クラフトテープで小物作り」と「ハワイアンキルト」。2ヵ月目に入りましたが講師の指導内容にも慣れ、順調に学習課題に取り組んでいます。  
苦勞されていましたが、生徒さんの想いが詰まった一品ですよ。



## 私たちのコロナ対策～換気を十分取りながら 「体幹鍛えて元気な身体づくり」講座



会場いっぱいを使って活動。窓は全開で換気しながら活動中です。

講師もフェイスシールド着用ですがこれって結構熱苦しいんですね。

体操系のコロナ感染対策は文科系より、もう一工夫が必要なので大変です。  
体幹体操でも、続けていくと大きな呼吸や掛け声・合いの手での飛沫防止などが重要です。互いの間隔を取ることに始まり、窓全開、マスク着用で頑張っています。

## コロナ感染対策をしながらの避難所運営 三原市防災ネットワークが第二中学校で開催

9月6日（日）地域の防災力向上を目指す防災体験会が、第二中学校講堂を使って開催されました。市内防災14団体でつくる市防災ネットワークが主催し、150人が新型コロナウイルス感染拡大を防ぎながら避難所をどう運営するかというテーマで先進事例などを学習しました。

翌日には猛烈な台風10号が最接近するのではないかとという緊迫した中での開催ということもあり、主催者・参加者共に集中した学習会となりました。

市防災ネットワークの会長で地元中之町下町内会防災会の代表も務められる竹原茂さんからは「2年前の豪雨災害の時は第二中学校に210人を受け入れたが、十分な感染症対策を行いながらの運営では受け入れは半数ぐらいに減ってしまう。避難してきた人たちの命を守ることが最優先なのだから、これからも様々な工夫を重ねたい」とお話。最新の避難所器具類なども見学・体験しながら、真剣なやり取りが終日続きました。



大勢の参加者にてんてこ舞いの受付。体温測定から始めます。



台風が近づく中説明にも力が入ります。



熱心にメモを取る参加者が大勢おられました。



互いのソーシャルディスタンスやプライバシーを考えた沢山の器具類が展示されました。



竹原会長の説明を聞いているのは女子高校生「自分たちにも出来ることがあるのでは」と参加。



地元町内会のスタッフ体験会開催を支えます。